

# みえ県議会 だより

NO.  
154

平成29年  
(2017年)  
4月1日



上野公園の俳聖殿(伊賀市)

発行 / 二重県議会 集 / 三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13  
☎ 059(224)2877 ☎ 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp  
🌐 http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/  
📱 http://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

## 委員会の活動状況

※開催回数は、平成29年2月28日時点のものです。

### 総務地域連携常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 9回】

#### 【審査・調査の概要】

移住促進に向けた取り組みや地域スポーツの推進、南部地域の活性化やワーク・ライフ・マネジメントの取り組みなど、多くの課題について調査しました。

特に、平成33年「三重とこわか国体」の開催に向けた施設整備の状況やトップアスリートの育成・強化など競技力向上の取り組みのほか、南部地域活性化基金等を活用した取り組みなどについて重点的に調査を行いました。

また、中山間地域振興等の他県の先進的な取り組みのほか、人材誘致による地域活性化や移住交流促進の取り組みについて現地調査を行いました。

#### 【審査した議案】

○「みえ県立ゆめドームうえの」の指定管理者の指定について  
ほか



移住交流促進事例の調査(徳島県)

### 戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 8回】

#### 【審査・調査の概要】

広聴広報の充実や人づくり政策の推進、中小企業・小規模企業の振興や観光施策の展開など、多くの課題について調査しました。

特に、家庭教育の充実については、個々の家庭・家族の形を尊重し、価値観の押し付けにならないように、また、首都圏営業拠点「三重テラス」については、今後の在り方・方向性に関する議論を深めるために、今までに得られたデータを多角的に分析・精査するように県当局に要望しました。

また、中小企業・小規模企業支援の先進的な取り組みや地域資源を生かした観光振興、女性が働き続けられる職場づくり等について現地調査を行いました。

#### 【審査した議案】

○伊勢志摩サミット基金条例案  
ほか



中小企業・小規模企業支援の調査(静岡県)

### 環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 8回】

#### 【審査・調査の概要】

県の文化施設が集積する総合文化センターの周辺地域である「文化交流ゾーン」や「第2次三重県男女共同参画基本計画」の改訂、海女漁業の振興など、多くの課題について調査しました。

特に、伊勢志摩国立公園を世界水準のナショナルパークとする取り組みについて、詳細な調査を行いました。また、こうした自然・景観を守り、次世代に引き継いでいくため、関係部局が連携して取り組むことを県当局に要望しました。

県外調査では、6次産業化などの「もうかる農業」に向けた取り組みやジビエ料理の普及啓発の取り組み等を調査しました。

#### 【調査した計画】

○安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム  
ほか



「もうかる農業」の取り組みの調査(岐阜県)

### 健康福祉病院常任委員会

保健衛生行政の推進、社会福祉・社会保障の推進、地域医療対策、子ども・青少年の育成、病院事業の運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 8回】

#### 【審査・調査の概要】

地域における医療と介護の提供体制、障がい者の自立と共生社会づくり、子どもの育ちや子育てを支える体制づくり、県立病院の運営など、多くの課題について調査しました。

特に、地域医療構想の策定については、県民が必要な時に安心して医療・介護のサービスを受けられるよう、地域の特性や実情を踏まえ、関係者と丁寧な協議・調整を行うこと、また、構想策定後も市町や医療機関等と連携し、しっかりと構想を推進することを県当局に要望しました。

県内外調査では、家庭的養護推進の取り組みや障がい者の多様な働き方のほか、医療的ケアが必要な児・者とその家族への支援の取り組みなどについて、現地調査を行いました。

#### 【審査した議案】

○三重県手話言語条例案  
ほか



文化的活動を通じた障がい者の自立と社会参加の調査(福岡県)

### 防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業(病院事業を除く)の運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 8回】

#### 【審査・調査の概要】

防災・減災対策や道路整備、策定中の「新三重県建設産業活性化プラン(仮称)」や企業庁の次期経営計画など、多くの課題について調査しました。

特に、地震対策については、熊本県庁や避難所を開設した大学で県外調査を実施し、その結果を踏まえて、熊本地震から得られた教訓を本県の対策に生かすよう県当局に要望しました。

また、消防団の充実・強化のため、消防団員を雇用している事業所を支援する取り組みについて県当局に要望しました。

#### 【審査した議案】

○三重県建築基準条例の一部を改正する条例案  
ほか



熊本地震の調査(熊本県)

### 教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数 8回】

#### 【審査・調査の概要】

「次期県立高等学校活性化計画(仮称)」、学力・体力向上の取り組み、防災教育・防災対策の取り組み、特殊詐欺などの犯罪抑止対策、交通安全対策など、多くの課題について調査しました。

特に、「次期県立高等学校活性化計画(仮称)」については、小規模校の意義に十分配慮して検討されるよう、また、信号機や横断歩道などの交通安全施設の整備については、ひとつでも多くの施設を整備されるよう委員長報告において県当局に要望しました。

また、タブレット等のICT機器を活用した教育や実学によるビジネス教育の取り組みなど、県内外の先進的な取り組みについて現地調査を行いました。

#### 【審査した議案】

○三重県立特別支援学校条例の一部を改正する条例案  
ほか



県立高校活性化取組の調査(長崎県)

# 予算決算常任委員会

予算・決算など県財政全般について、審査・調査しています。

委員会開催回数 16回、各分科会開催回数 37回

## 【審査・調査の概要】

本委員会は議長を除く議員全員が所属し、部局別に6つの分科会を設け、年間を通じて予算議案・決算議案などを詳細に審査・調査しています。

県財政の現状や前年度の県政運営を調査し、目指すべき方向性について知事へ申し入れを行いました。新年度当初予算については、極めて深刻で厳しい県財政の状況を踏まえ、予算編成の考え方について重点的に調査を行い、議会の意見が反映されるよう取り組みました。

また、財務省・茨城県議会を訪問し、地方財政の動向や資金調達手法の多様化の取り組みについて調査を行うとともに、茨城県資金管理担当顧問に参考人として出席を求め、資金調達等についての意見を聴き、審議の充実に努めました。

○平成27年度三重県一般会計歳入歳出決算 ほか



県政運営等に関する申し入れ

## 子どもの貧困対策調査特別委員会

子どもの貧困対策（雇用、福祉、教育など）について調査しています。

委員会開催回数 13回

## 【調査の概要】

子どもの貧困対策について、「学習支援と子どもの居場所づくり」「包括的な支援の在り方」「就労支援」の3点を重点調査項目として調査してきました。

県当局からの聴き取り調査に加え、参考人招致や県内外調査を実施し、子どもたちを取り巻く現状や課題、支援の取り組みについて調査するとともに、関係者との意見交換を行いました。

12月には、平成29年度当初予算編成を見据え、学校現場における福祉の専門家「スクールソーシャルワーカー」の増員や、困難な状況におかれている子どもたちやその家庭の実態把握に早急に取り組むよう求める中間報告を行いました。

最終の委員長報告においては、これまでの委員会における議論を踏まえ、中長期的な視点も含めた子どもの貧困対策について提案・要望を行いました。



委員間討議の様子

## サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会

サミットを契機とした地域の総合力向上について調査しています。

委員会開催回数 9回

## 【調査の概要】

サミット開催によりもたらされた好影響を三重の未来に生かすために「伊勢志摩サミットのレガシー」「レガシーを生かした取組」「伊勢志摩サミットの経済効果」の3点を重点調査項目として調査してきました。県当局からの聴き取り調査に加え、参考人招致や県内調査を実施し、北勢・南勢の自治体、交通・運輸系の私企業、産業・経済関係の同業組合等からサミットの影響やポストサミットの取り組み等を聴き取るとともに、関係者との意見交換を行いました。

9月には、それまでの議論を中間報告にまとめ、知名度の向上を生かした、人と事業を呼び込む取り組み等について、県当局に対して要望しました。中間報告以降も、委員間討議を重ね、最終の委員長報告において、県当局に対して、観光誘客・産業振興等の取り組みについて、提案を行いました。



サミット会場地の視察(志摩市)

## 選挙区調査特別委員会

県議会議員の選挙区・定数について調査しています。

委員会開催回数 12回

## 【調査の概要】

三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例は、平成26年5月に改正されました。その際の特別委員会で議論された5つの課題（「一票の格差の是正」、「総定数の検討」、「選挙区の見直し」、「一人区の検討」、「逆転現象区の是正」）に加えて、この特別委員会では、「適正な定数の基準」、「地域間格差の問題」、「定数増の検討」の課題についても議論してきました。

また、条例改正で議員数等が変更となった選挙区の市町長・議長等との意見交換、有識者の参考人招致を行い、議論を深めてきました。

議会基本条例において、議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数について、県民意思等が的確に反映されるよう不断の見直しを行うものと定められており、現行の条例を改正する方向で引き続き検討を行っています。



委員間討議の様子

## みえ現場de県議会 ～女性活躍の推進について県民と意見交換～

県議会では、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映させるため、平成22年度より「みえ現場de県議会」を開催しています。今年度は1月18日に、鈴鹿市文化会館で「女性活躍の推進」中小企業の現場で」をテーマに開催しました。

当日は、中小企業の女性経営者等3人と一般公募の方3人から、女性が働く上での課題や女性活躍推進のために県に期待すること等について、県議会議員13



人が直接ご意見をお聴きしました。参加者からは、「管理職になりたいと思う女性は少ないように感じる」「働きたくても、子どもを預けられる場所の確保が難しい」など自身の経験で感じた課題とともに「短時間勤務が可能な働き方や在宅ワークができる仕組み作りが必要」「保育園だけでなく、学童保育など小学生でも受け入れる施設の充実」などの提案が出されました。いただいたご意見をまとめた実施概要はホームページに掲載しています。



## みえ県議会出前講座 ～学校で県議会の役割と仕組みを説明～

県議会をより身近に感じていただき、

将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に、県議会議員が小中学校や高校などに出向いて授業を行っています。

平成28年度実施校	
7月	三重県立飯野高校
11月	熊野市立飛鳥中学校
1月	津市立北立誠小学校
2月	名張市立桔梗が丘小学校
	四日市市立富洲原小学校
	鈴鹿市立庄内小学校
	いなべ市立治田小学校
	亀山市立神辺小学校

議員が県議会の役割や仕組み等について説明した後、児童や生徒からは「条例はどのように決まりますか」「伊勢志摩サミットの時にはどんな仕事をしていますか」といった質問が寄せられました。みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。今後もし申し込みをお待ちしています。



津市立北立誠小学校での出前講座の様子

## お知らせ

### 文書による質問

次のとおり文書による質問が提出されました。

### ○稲森稔尚議員（草の根運動いが）

伊賀市喰代における森林の無許可開発への対応について  
※質問と回答は、県議会ホームページをご覧ください。

### 議員の辞職等について

鳥羽市選出の中村欣一郎議員から議員辞職願が提出され、3月2日の本会議で辞職が許可されました。これに伴い、中村欣一郎議員に代わり、環境生活農林水産常任委員会の副委員長および広聴広報会議の委員に田中祐治議員、選挙区調査特別委員会の委員に木津直樹議員が就任しました。なお、議員の辞職に伴い、鳥羽市選挙区で補欠選挙が次の日程で行われる予定です。  
告示日：4月7日 投票日：4月16日